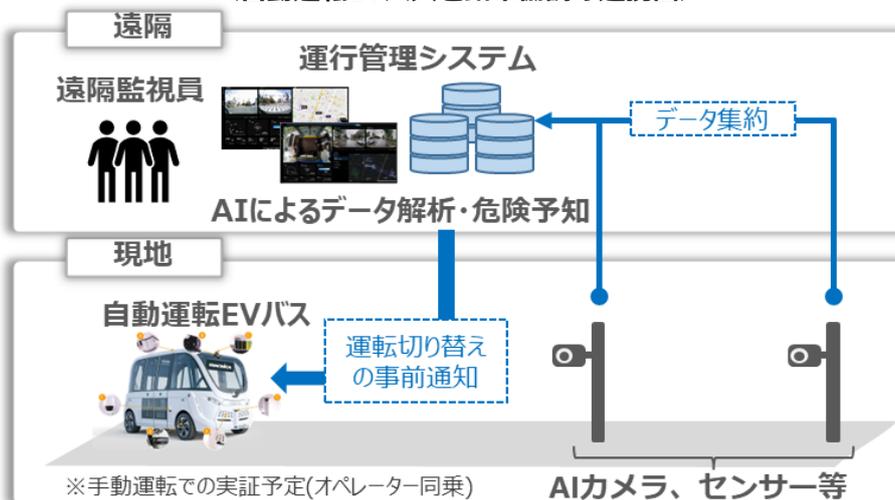


■運行ダイヤ：下表の時間帯に運行します。

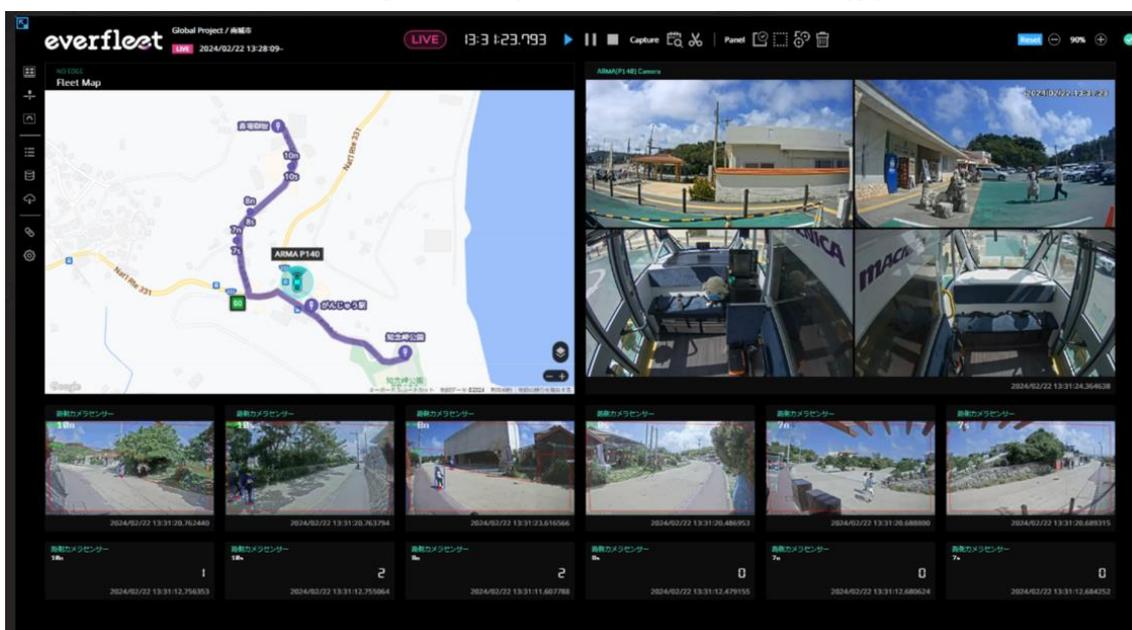
便数	知念岬公園 駐車場	がんじゅう駅	斎場御嶽 入口駐車場	がんじゅう駅	知念岬公園 駐車場
1便	10:00	10:05	10:15	10:25	10:30
2便	10:40	10:45	10:55	11:05	11:10
3便	11:20	11:25	11:35	11:45	11:50
昼休憩					
4便	14:00	14:05	14:15	14:25	14:30
5便	14:40	14:45	14:55	15:05	15:10
6便	15:20	15:25	15:35	15:45	15:50
7便	16:00	16:05	16:15	16:25	16:30

- ・乗車は車内（乗車中）にタブレットのアンケート回答が条件となります。
- ・交通状態や天候等による遅延や走行中止となる場合がありますのでご了承願います。
- ・定員が超過する場合は、乗車をお断りする場合があります。

<自動運転EVバスと路車協調の連携図>



<everfleetによる自動運転EVバスのリアルタイム運行状況>



*1：セカンダリアクティビティとは、運転手が運転中にできる運転以外の行為のことです。

*2：自動運転EVバスARMA（GAUSSIN MACNICA MOBILITY社製）

ARMAは自動運転EVシステムを搭載した自動運転シャトルバスです。EV（電気自動車）仕様となり、1回の充電で約9時間（100km）の自動走行が可能です。

全長：4,750mm

全高：2,650mm

全幅：2,110mm

重量：2,400kg

車両総重量：3,450kg

乗客定員：10人(乗客9名+乗務員1名)

動力源：EV電動モーター

最高速度：速度25km/h（国内推奨速度20km/h未満）

自動運転レベル：レベル2（技術的にはレベル3相当）



*3：everfleet（マクニカ製遠隔監視システム）

everfleet

自動運転を実用化するためには、車室内の乗客や車両周辺の状況を遠隔地からモニタリングすることが求められます。everfleet（エバーフリート）ではモビリティの位置情報や車内外のカメラ映像に加え、車速・ステアリング・バッテリー残量などの車両データを統合して一元的に可視化し、信号機などの交通インフラと協調した外部データとの連携も可能です。これにより、運行状況を遠隔地からリアルタイムに把握し、安全・安心に自動運転モビリティを運用することができるようになります。さらに、複数地域の多種多様なモビリティを同時に群管理することや運行時の異常をシステムによって自動的に検出・通知することができるため、1人の遠隔オペレータによって、効率よく自動運転モビリティを運行管理することで、オペレーションの省人化を実現し、交通採算性の改善にも貢献します。

株式会社マクニカ モビリティソリューション事業部

TEL：045-470-9118

MAIL：auto-solution@macnica.co.jp

※本文中に記載の社名及び製品名は、株式会社マクニカおよび各社の商標または登録商標です。

※ニュースリリースに掲載されている情報（製品価格、仕様等を含む）は、発表日現在の情報です。その後予告なしに変更されることがありますので、あらかじめご承知ください。

株式会社マクニカについて

マクニカは、半導体、サイバーセキュリティをコアとして、最新のテクノロジーをトータルに取り扱う、サービス・ソリューションカンパニーです。世界23か国/地域81拠点で事業を展開、50年以上の歴史の中で培った技術力とグローバルネットワークを活かし、AIやIoT、自動運転など最先端技術の発掘・提案・実装を手掛けています。

マクニカについて：www.macnica.co.jp